【戦評シート】

平成　１７年　５月　５日（木）	協会名：　能代市　バスケットボール協会
場　所：能代市総合体育館	記入者：岩谷　修一

チームA				チームB
能代工業	１０６	２９－３３ ２４－２１ ２８－１４ ２５－１６	８４	岡山選抜

スターター	チームA：	５，６，７，８，９
	チームB：	５，８，１０，１７，１８
ディフェンス (試合開始時)	チームA：	□ マンツーマン　■ ゾーン（　２－２－１ゾーンプレス　）
	チームB：	■ マンツーマン　□ ゾーン（　　）

能代工業ゾーンプレス、岡山選抜マンツーマンでスタート。岡山選抜は小気味良いパスワークから⑰竹原、⑧朴の３Ｐなどで序盤からペースをつかむ。能代工業は⑦齋藤、⑨西山の思いきりのいいシュートで応戦するものの、５分過ぎには岡山選抜⑩藤井の連続３Ｐで、１４－２３とリードを許す。能代工業はリズムがつかめず苦しい状況の中で⑦齋藤，⑧下山が３Ｐを決め、２９－３３と４点ビハインドで第１Ｑを終了。

第２Ｑに入り、能代工業は⑦齋藤、⑧下山、⑨西山の連続ゴールで逆転に成功するものの、岡山選抜が⑰竹原の３Ｐやゴール下などで再び主導権を握る。その後能代工業はリバウンドを取ることができず、攻撃の糸口をつかめないまま５３－５４で前半を折り返す。

第３Ｑ、５９－６３とリードされた場面から、能代工業は⑪長谷川のジャンプシュート、⑧下山のインターセプトからのレイアップで同点。たまらず岡山選抜はタイムアウトを取るが、能代工業の攻撃を止めることできない。⑨西山から鮮やかなアシストパスが⑩満原へ通り、バスケットカウントで６６－６３。さらに⑨西山がリバウンド、そしてインターセプトと縦横無尽の活躍をする。リバウンドを支配、ルーズボールを奪取する能代工業らしさがひかり、８１－６８とする。

第４Ｑ も能代工業の勢いは止まらず、１０６－８４で快勝した。入学して間もない１年生の活躍が目を引いた試合であった。

注意 ： 文面には試合内容のみご記入下さい。